

「奥会津地域における地域福祉・保健・医療のDXについて」

発表大学(福島大学行政政策学類 地域福祉演習)

<p>大学参加者名</p>	<p>福島大学行政政策学類 地域福祉演習 教員 鈴木典夫 (教授) 学生 赤間祐芽 (3年) 阿部里音 (3年) 澤上美羽 (3年) 益子綾菜 (3年) 宮林美保 (3年) 弓納持 樹 (3年)</p>
<p>参加自治体</p>	<p>【参加自治体】 柳津町 三島町 金山町 昭和村 【令和4年度中心参加自治体】 柳津町 三島町 金山町</p>
<p>(1) 調査研究の課題・背景</p>	<p>急激な人口減少、過疎化の問題も抱える当該地方での、健康意識の高揚を図るため及び医療・福祉サービスのサービス利用環境向上・生活環境向上を図るため、地勢把握、現状把握を目的として踏査及び聞き取りを行う。</p>
<p>(2) 令和4年度調査研究活動内容</p>	<p>3町(柳津、三島、金山)の行政関係部署でのヒアリングを行った。奥会津在宅医療センターではヒアリング並び医師からのレクチャーとディスカッションを行った。ヒアリングのは以下の内容(一部)。 ①町勢について(近年の状況) ②町民の暮らしの特徴(※担当者の私見を交えて) ③福祉事業の状況(制度的趨勢、町独自の福祉事情・財政的負担) ④保健事業の状況(健康増進・介護予防についての取り組み) ⑤疾病特性などの有無 ⑥医療の事情 ⑦少子高齢の影響、人口減少・過疎の影響、中山間地としての特質 ⑧デジタル改革の町の現況 ・意見交換 ①福祉・保健・医療に関してDXに期待できるところ ②町民の生活向上につながるDX 厳冬期の生活にふれるため、踏査見分もし、宿泊にて行った。</p>
<p>(3) 令和4年度時点の結果</p>	<p>ヒアリング調査のまとめ 中期的・長期的ビジョン(仮) ビジョンに基づく取り組みのコンセプトの抽出(仮) 取り組みプロジェクトのアイデアだし(萌芽的)</p>
<p>(4) 提言または今後の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民側・関係事業所への聞き取り調査(行政機関ではないところの状況把握) ・町民グループ活動の参与観察(同上) ・医療サービス利用者への同行訪問(同上) ・ビジョン、コンセプトの議論(深化) ・具体的な施策・取り組みの提案(アイデアの複数化・包括化。エビデンスを用いながらの提案の深化) ・DXの学習(新規3年生を含めた理解の深化)